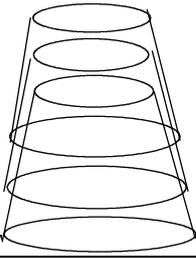


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>連想できるものは何？</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立中小路小学校</p>												
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>自立活動</p>	<p>【制作者名】</p> <p>生田目 修一</p>												
<p>【制作の意図】</p> <p>わかりやすいルールで、学年を問わず活動できる物を考えた。ルールを守ること、集団生活で仲良く活動することの楽しさを学べるようにする。考えを発表すること、発表回数を見える化することで他人の前で話すことに自信をつけられると考える。</p>	<p>【使用の方法】</p> <p>①カードを引く順番を決め、誰もが出題者になる。(1人二つのカードを引く。) ②二つのカードを組み合わせて連想する。 ③連想できた人は、自分の色のカラーコップを中央に置き、考えを発表する。 ④次の人は、前の人のコップに自分のコップを積み重ねてから発表する。 ⑤ 連想が出尽くしたら次の順番の人が二つのカードを引き、新たな問題の連想をする。</p>												
<p>【制作上の工夫】</p> <p>二つのカードを組み合わせて連想できるように、カードの言葉を考える。「教室名」や「教科名」を書いたカードと、「○色に関するもの」や「○行の入った言葉」などのカードをつくり、体育館にある赤色の物とか算数で使うさ行の物など、子供が答えやすいものにする。</p>	<p>【見取り図】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">あ る も の</td> <td style="padding: 5px;">体 育 館 に</td> <td style="padding: 5px;">関 係 す る</td> <td style="padding: 5px;">算 数 に</td> <td style="padding: 5px;">あ る も の</td> <td style="padding: 5px;">教 室 に</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">す る も の</td> <td style="padding: 5px;">赤 に 関 係</td> <td style="padding: 5px;">っ た 言 葉</td> <td style="padding: 5px;">さ 行 の 入</td> <td style="padding: 5px;">っ た 言 葉</td> <td style="padding: 5px;">か 行 の 入</td> </tr> </table> 	あ る も の	体 育 館 に	関 係 す る	算 数 に	あ る も の	教 室 に	す る も の	赤 に 関 係	っ た 言 葉	さ 行 の 入	っ た 言 葉	か 行 の 入
あ る も の	体 育 館 に	関 係 す る	算 数 に	あ る も の	教 室 に								
す る も の	赤 に 関 係	っ た 言 葉	さ 行 の 入	っ た 言 葉	か 行 の 入								
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>15分から45分まで、活動できる時間の幅がある。 1人から6人まで楽しんでできるが、3人以上で行うことで集団活動の楽しさを感じられる。 発表するたびに自分のコップを重ねていくことで、児童は「色」という視覚により、自分自身の頑張りをと感じ取ることができる。 国語で語彙力を伸ばすことにも使える。</p>												
<p>【材料・材質・部品等】</p> <p>厚紙を切ったカード</p> <p>プラスチックのカラーコップ (6色×6こ)</p>													